

圖 面

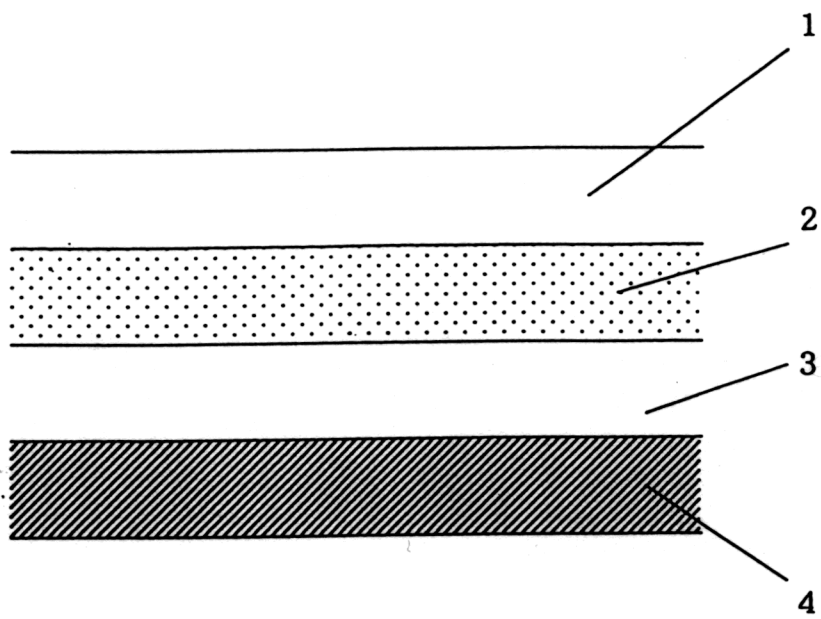
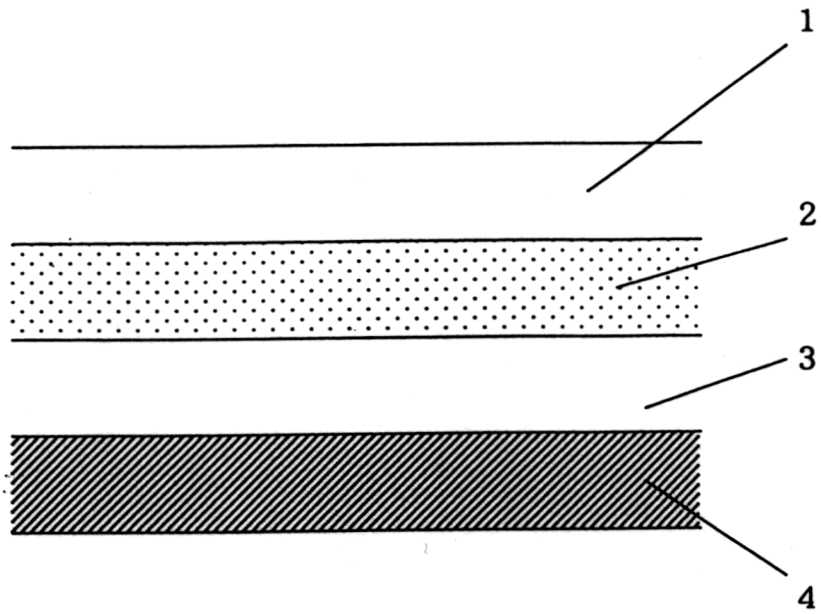


圖 面



**別表 1 - 1**  
(感熱転写シートの厚さに関する特許公報)

甲号証の表示	公開番号	発明の対象	記 載 内 容
甲第72号証	特開昭55-105579	感熱性多数回転写材	①耐熱性保護膜(8)の好ましい厚さについて、「約0.5~5 $\mu$ 」と記載し(公報第3頁左上欄)、実施例においては、「5g/m <sup>2</sup> の耐熱保護膜をえた」ことを記載している(公報第5頁左上欄)。 ②耐熱性インク層(2)の好ましい厚さとして、「5~60 $\mu$ 」と記載し(公報第3頁左上欄)、実施例においては、「10 $\mu$ で耐熱温度128 $^{\circ}$ Cの耐熱性インク層をえた」ことが記載されている(公報第4頁右下欄)。
甲第73号証	特開昭56-75894	熱記録媒体	請求項3において、熱溶解性インキ層が「約1~15g/m <sup>2</sup> の層である」ことを記載し(公報第1頁右下欄)、かつ発明の詳細な説明においても、これに対する記載を行っている(公報第5頁左上欄)。
甲第74号証	特開昭57-15997	熱記録媒体	支持体2と熱溶解性インキ層4との間に介在する熱伝導層の好ましい厚さについて、「10 $\mu$ 以下」と記載し(公報第2頁右上欄)、かつ実施例1において「5g/m <sup>2</sup> になるように塗工」したことによる熱伝導層を得たことを記載している(公報第3頁右下欄)。
甲第75号証	特開昭57-61597	感熱複写シート	感熱発色記録層2につき、約2~10g/m <sup>2</sup> と規定し、熱剥離層3につき、約0.5~5g/m <sup>2</sup> と記載し、感熱発色層4につき、約5~15g/m <sup>2</sup> と記載している(公報第4頁左上欄)。
甲第76号証	特開昭59-101396	感熱記録用転写媒体	グラフアイトを含有するシート表面に、固体状物質の着色層を設けたことによるシート全体の厚さにつき、実施例1では18g/m <sup>2</sup> であることを記載し(公報第2頁右下欄)、実施例2では18 $\mu$ mであることを記載している(公報第3頁左上欄)。

**別表 1 - 2**  
(感熱受像シートの厚さに関する特許公報)

甲号証の表示	公開番号	発明の対象	記 載 内 容
甲第77号証	特開昭55-79192	感熱記録材料	受像シートに塗設される水溶性ポリオレフィンと固体脂肪酸類及び/又は固体脂肪酸アミド類を含有している転写受理層の塗布量を0.1~5 g/m <sup>2</sup> と記載している(公報第3頁右上欄)
甲第78号証	特開昭55-97983	感熱記録材料	実施例において、C液と水溶性ポリオレフィンアルカリ性水溶液の混合液を乾燥後塗布量0.6 g/m <sup>2</sup> になるように上質紙に塗布乾燥して受像シートとした旨記載されている(公報5頁右下欄及び6頁左上欄)。

図 面 A

